

## 斐伊川住民意見発表会（米子会場） 発表者および発表主旨、配付資料

## 1. 発表者

発表番号	お住まい	発表主旨、配付資料
1	米子市内町	P 2
2	東出雲町	P 2 0

## 2. 発表主旨・配付資料

各発表者の発表主旨および配付資料を次ページ以降に添付

## 発表者 1

かつては大橋川からの流水の 3 割は本庄水域を通過して境水道に流れていた。  
大橋川からの洪水を一刻も早く境水道に流下させるためには、本庄水域方面にも洪水が流れるような対策が必要である。  
向こう 20～30 年間の河川整備計画を定めるこのたびの計画では、大橋川沿岸の堤防整備や内水対策を行い、拡幅についてはダムや放水路の効果を確認しながら、改めて検討すること。

2009年10月4日

# 斐伊川住民意見発表会

2002年9月1日 高潮(彦名)



2002年9月1日 高潮(彦名)



2002年9月1日 高潮(彦名)



農家から聞き取り調査

# 本庄堤防なくして

## 中海の根菜類栽培に悪影響



農家を回って状況を説明する農業者—米子市彦名町の彦名八区公設農

身近農業は冠水との戦い

中海の根菜類栽培に悪影響を及ぼしている。米子市彦名町の彦名八区公設農業者は、中海の水位上昇による冠水被害に悩んでいる。根菜類栽培は、中海の水位が上昇すると、根が腐りやすくなる。また、冠水による土壌の浸透性低下も、根菜類の生育に悪影響を及ぼしている。農業者は、中海の水位上昇を食い止めるための対策を求め、自治体や関係機関に協力を要している。

中海の水位上昇は、根菜類栽培に悪影響を及ぼしている。米子市彦名町の彦名八区公設農業者は、中海の水位上昇による冠水被害に悩んでいる。根菜類栽培は、中海の水位が上昇すると、根が腐りやすくなる。また、冠水による土壌の浸透性低下も、根菜類の生育に悪影響を及ぼしている。農業者は、中海の水位上昇を食い止めるための対策を求め、自治体や関係機関に協力を要している。

中海の水位上昇は、根菜類栽培に悪影響を及ぼしている。米子市彦名町の彦名八区公設農業者は、中海の水位上昇による冠水被害に悩んでいる。根菜類栽培は、中海の水位が上昇すると、根が腐りやすくなる。また、冠水による土壌の浸透性低下も、根菜類の生育に悪影響を及ぼしている。農業者は、中海の水位上昇を食い止めるための対策を求め、自治体や関係機関に協力を要している。

### 彦名地区（既耕地）の排水状況調査について

平成11年11月4日に彦名地区の農事実行組合長より排水状況の聞き取りを行った。

#### 1 実行組合長の意見

##### (1) 過去の状況について（干拓以前）

・干拓以前は、護岸堤防のステップに陥ることができたが、最近は常時水に浸かっている。また、護岸堤防の沖5m付近にある石垣も昔は見えていた。

##### (2) 現在の状況（干拓後）

- ・以前は、中海側のほ場は排水が良く、内浜県道側は溜田であったが、現在は逆になっている。
- ・護岸堤防から200mぐらい間での排水が悪い。
- ・調査データはないが、中海の水位が高くなってきているようだ。今年は特に水位が高い。やや悪くなっている。
- ・雨の後、水の引きが悪くなった。
- ・各排水路がコンクリート水路に整備されている関係で、内浜県道側は排水が良くなってきている。

##### (3) その他

・各排水路流末には排水樋門が設置されているが、管理が難しく苦慮している。

#### 2 排水対策について

未整備の排水路を改修するとともに、地元の同意が得られれば、既設護岸堤防の内側に沿って排水路を整備し、大きな河川でまとめて排水することで解消できるものと考えられる。

協議等復命書				米子地方農林振興局 地域整備課 H11.11.5		
供	振興局長	課長	課長補佐	係長	合議	主査

題名	排水状況開取り調査について					
日時	平成11年11月4日(木) 19:30~20:30	場所	J A鳥取西部 彦名支所			
趣旨	彦名地区(既耕地)の排水状況について開取り調査を行った。					
<p>1. 過去の状況について(干拓以前)</p> <p>以前は護岸堤防のステップに落ちることが出来たが、最近では常時水に浸かっている。(下図参照)</p> <p>また、護岸堤防の沖5m付近にある石垣も、昔は見えていた。</p> <p>→堤防が下がったか、水位が上がったかは分からない。</p>						

### 大橋川改修工事に対する要望書

米子市長 森田 隆 朝 様

国土交通省の斐伊川、神戸川治水事業の一環として、大橋川拡幅問題で鳥取県の同意を得るべく鳥根県より要望が出されていますが、中海穴道湖淡水化事業が事実上中止にある今日、代替水源問題は至上命題であるとともに、宇江工区干拓堤防完成後は以前にもましてかなりの水位上昇が見られ、大雨による逆流と排水路の浸透で農地が冠水する被害がしばしば発生する現状であります。大橋川が拡幅されると、弓浜半島の被害は更なる拡大が懸念されます。

私達中海沿岸圏域の農業生産者が、環境保全に鑑み、安心して営農ができますよう慎重な対応を要望致します。

**【要望事項】**

- ① 中海水位の上昇は、逆流と農地冠水並びに塩分隆起による著大な被害をもたらすことが想定されるので、大橋川拡幅工事には反対します。
- ② 大雨洪水警報時の現地調査の実施と農地保有者の現況把握。
- ③ 鳥取県西部地震による防潮堤の破損部分の早急な修復。

平成13年4月11日

彦名実行組合長協議会

鳥津実行組合長協議会

### 片山知事宛要望書

2月16日、彦名・崎津の農家との意見交換会で現地を見ていただきましたが、木庄工区干拓堤防が築設されて以来、中海の高潮が頻発に起こるようになりその後の潮の引きも非常に遅くなりました。

その影響により田畑の地下水の上昇、雨による冠水が長時間起こり、農作物の根腐れの被害が増大しており、すでに農地としての機能を失っている場所もあります。

これは、木庄工区干拓の為の大御崎、森山堤防の影響と考えます。

今後も、このような被害が頻発すると、農業生産者の営農意欲の減退につながりかねない状態です。

従って、出来る限り元の形に近い両堤防の開削を求め中海協議会に望んで頂きたい旨と、私たち中海沿岸地域の農業生産者が将来に亘って安心して農業が出来ますように、農地の高上げ（客土）・排水不良の改善等の対策を早急にご検討いただきますように要望致します。

平成17年3月18日

米子市彦名農事実行組 

米子市崎津農事実行組合

### 2003年9月13日 高潮(米子港岸壁)



2003年9月13日 高潮(加茂川河口)



2003年9月13日 高潮(加茂川河口)





2003年9月13日 高潮(加茂川河口)



2003年9月13日 高潮(灘町)



1986年 高潮(米子港岸壁)



1986年 高潮(米子食品団地)



## 水位上昇による家屋被害(内町)



### 日本経済新聞 1980.11.16 加茂川の水位上昇に不安

中海・本庄区千陸に  
反対している「美しい中  
海を守る住民会議」(岩  
田代表幹事)は十二日  
日夜、米子市の農友会  
下流域の変遷や人々の暮  
ろについて、灘町や内  
町の住民から聞き取り調  
査を行った。住民たちは  
小池にぎやかだった昔  
の加茂川を懐かしそうに  
語り、最近特に自立つ水  
ら、加茂川下流域で生活

位津について不安訴  
最悪の桑原さんは  
中海の環境一多独  
八年から進めいる  
農勢をスゲ下、灘  
より「みんな中海」  
「七回の聞き取り  
に当たる今回は、灘町  
丁目民会の桑原正三  
郷さん(67)元内町  
も「戦後しばらくは

下流の住民から聞き取り  
米子

と全然関係のない時にも  
水位があがっている」と  
話し、本庄区千陸や大  
瀬川沿への不安を口に  
していた。

住民議の聞き取り調  
査は今回が第二期。岩  
田代表幹事はこれまで  
の聞き取りは漁業者や農  
業者を中心としたが、  
第二期は流域の生活者  
の目撃した中海について  
の証言集めた」と話  
している。

## 加茂川周辺住民からの聞き取り(1998.11.13)

- 長女が生まれた1980年ごろから水位が頻繁に上がりだした。それまでは、灘町橋下の河川敷はほとんど水に隠れることはなかった。
- 干拓堤防ができてから水位が下がりにくくなった。少し風が出ても水位が上がる。海流が回転ではなく、往復運動になってから、水が引きにくくなった。

住民環境アセスメント企画

### 調べよう！みんなで中海(第1分冊)

中海の漁師及び研究者からの聞き取り



1997年1月31日

美しい中海を守る住民会議

### 3. 東出雲町中海漁協の漁師の みなさんからの聞き取り



1996年7月2日/第4回聞き取り調査

[4問-16]

すね。そうしますと大橋川に吸い込む水の何十倍という水が入ることによって潮位が高くなります。潮位が高くなるということは、隅々まで水が入るから潮位が高くなるということですね。今度は6時間で水が退くときには、大橋川から出る何十倍もの量が境水道から一気に本庄工区から抜けます。先の方に入っている水も出ます。このことは隅々まで水が換っていることを示しています。それと引き潮のときには、浅瀬では底の泥が空気に触れて酸素を吸収します。我々が水稻を作っている場合でもこのことは大切なことですね。それと同じです。このことが湖の隅々で繰り返され湖底に酸素を供給する働きを大きく担っているとの認識を述べました。

- 今、中浦水門一本からの潮の出入りです。時間で干満が決まっていますね。米子湾に潮が入ると言われるけど入った水が単に押し上げているだけだ。あそこが一本だけですと入るには入りますよ。しかし今度、出て行く時間になって境水道から出ようとしても込潮になって出ようにもできない。出るものがずっと出て、その後海水が入ることにならないのです。だから水が奇麗にならないわけです。したがって少なくとも、もう一箇所開いて潮が廻れば、水が入れ換わることができて奇麗になるのです。このことが最も大切なことなのです。今の状態は、単に押しくらべ頭をやっているだけです。

## 2. 中海研究者

### 岸岡 務氏からの聞き取り



1996年6月18日 / 第3回聞き取り調査

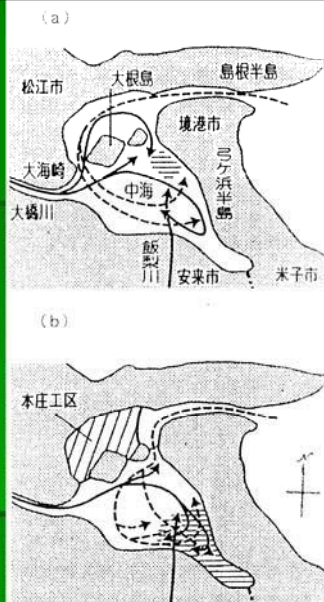


図1 (a) 干陸堤防、水門設置以前の潮流  
(b) 設置後の潮流。図中、≡≡≡は  
へドロの堆積場、-----は海水の流れ  
——は汽水の流れ。

の密度流として用意して描いていただいたように流れます。そうすると荒島から米子辺りまで綺麗な海水が流れ込み塩分を補給することになり、ヘドロも少なくなって綺麗になるわけです。こうした考えを持っているのです。

これを止めてしまいますと、宍道湖からの表層流の3割以上が出ていたのですが、それが出なくなります。これが中海を流れることになりま。それから底層流が、本庄水域を通過して入らないで中浦水門から入ってきます。ここから入ると中海の6m層のところを通過してきます。現在のところ流れる速度もその力も、元のものに比べて小さくなっています。現在の汚濁をもたらしたのは、先ほどもお話しましたように潮流を止めて中海の閉塞性を高めたことは生態系に大きな影響を及ぼしてきました。もしも干陸を止めても他に交通路が確保できず堤防が壊せないならば、堤防に何本かヒューム管を埋め込み底層流及び表層流の流れを確保することはそんなに金をかけることなくできると思います。どのようなヒューム管が何本必要か、又、その場所は何処が良いのかを知ることは困難な作業ではありません。早急に基礎資料を求め検討を加えて、この住民会議で提案をしたらよいと思います。本当に道路が必要ならば他にそれを確保し堤防を撤去するのが最善ですが、残念ではありますが堤防を開削し橋をかけることもできかねるとするならば、ヒューム管の埋め込みを検討すべきだと考えます。

# 7月 豪雨でアサリ死滅

中海、塩分薄まる

七月の豪雨で中海の塩分が薄まり、特産のアサリ漁が窮地に陥っている。中海が真水に近い状態になったため、アサリの生息に適さず、大量死が確認された。「復活に二年はかかる」と漁業者は苦渋の表情。アサリを活用した中海の水質浄化を提唱する境港市は関連イベントを中止した。

国交省の観測によると、中海湖心(上層)の塩分濃度は七月十五日に一日当たり約二万が減少したが、二十五日には約一千万と、二十分の一まで低下した。農根県が二十七日に中海の江島大橋付近など三カ所を調査した結果、アサリの大群死を確認した。同水産課は「汽水域に生息するアサリは真水

に近い状態が十日間続くと死滅する」と推測。一九九七年にも大雨によってアサリが相当数死滅したという。

## イベント中止、水質悪化懸念

中海でアサリ漁を営む中海漁協の石倉正夫さん(左)は「アサリは雨で全滅。(唐島)には二年はかかる」と困惑気味。一方、境港市は本年度新規事業として環境啓発イベントでの「アサリ汁」提供を予定化したが、提供は困難だという。赤潮発生時の鹽素、リンを栄養分とするアサリを定期的に漁獲しなければ湖沼を汚す原因にもなるため、同市はアサリの地産地消運動を通して水質浄化を進める計画だったが、アサリの大群死による水質悪化が心配(「環境防災課」としている)。

## 漁に大打撃

アサリ生息状況調査（事前調査） 8/3日の調査

水産技術センター内水面浅海部

0.5m RTI (内)

1. アサリ採集ならびに水質調査地点



2. アサリの生息状況調査結果

単位: 個

調査地点	生貝	空貝	生貝の割合	その他
St.1	25	6	80.6%	体ニシ、外刺ガイ: 生、イシジミ: 空
St.2	101	14	87.8%	体ニシ、外刺ガイ、刺木ガイ: 生
St.3	0	19	0%	イボニシ: 空
St.5 森山支所対岸	0	333	0%	ソトオリガイ: 生
St.5 民主造船対岸	0	146	0%	ソトオリガイ: 生



### どう向き合う「大橋川改修」インタビュー

「百年の大計」として、3点セットで計画された伊弉川・神戸川治水対策事業のうち、松江川中流部を流れる大橋川改修が着ている。ダムと放水路のダム、中流部の放水路に対し、放流、慣流の両輪が交錯。その難行に、流域からは立ちのちがられる一方、生態系や景観、農

**慎重** 大熊 孝氏 (中大六) (名譽教授)



#### 2点完成後様子見を

大橋川・神戸川治水対策事業のうち、松江川中流部を流れる大橋川改修が着ている。ダムと放水路のダム、中流部の放水路に対し、放流、慣流の両輪が交錯。その難行に、流域からは立ちのちがられる一方、生態系や景観、農

**推進** 福岡 捷二氏 (中大六) (教授)



#### 流下能力不足は深刻

大橋川・神戸川治水対策事業のうち、松江川中流部を流れる大橋川改修が着ている。ダムと放水路のダム、中流部の放水路に対し、放流、慣流の両輪が交錯。その難行に、流域からは立ちのちがられる一方、生態系や景観、農

## 様子見を

「放水路の操作は、変化する。伊弉川から六道湖に流入する洪水は、大橋川改修の3点セットを同時進行すべきか疑問だ。ダムと放水路ができれば、安全度はかなり上がる。大橋川改修は、その2点セットの完成後二十、三十年間、様子を見る見直し期間を設けて、取り掛かってもいいのではないかと。その理由は、

「放水路の操作は、変化する。伊弉川から六道湖に流入する洪水は、大橋川改修の3点セットを同時進行すべきか疑問だ。ダムと放水路ができれば、安全度はかなり上がる。大橋川改修は、その2点セットの完成後二十、三十年間、様子を見る見直し期間を設けて、取り掛かってもいいのではないかと。その理由は、

## 大橋川改修技術検討懇談会 会議資料

平成20年9月22日 中国地方整備局 出雲河川事務所

- 一方、ダム、放水路完成後の現況河道について数値シミュレーションを行った結果(図1.2.1)、昭和47年洪水規模においては、宍道湖の水位はH.P.+2.36となり、宍道湖の計画高水位H.P.+2.50を下回る。また、松江大橋地点の水位はH.P.+2.13となり、計画高水位H.P.+2.45を下回り、築堤を行うことにより流下可能となる。

### 斐伊川水系工事実施基本計画

昭和51年7月1日

建設省河川局

保全に関しては、出雲市、平田市、松江市、安来市、米子市、境港市等の石川地域を洪水から防御するため、①上流部にダムを建設し、洪水調節を行い、河道については、区削、築堤、護岸等を施行するとともに②中流部に放水路を開削して洪水の軽減を図り、③宍道湖及び中海については、湖岸壁を設置する。

また、内水被害の甚しい地域については、内水対策を実施し、河川環境の改善を図るため、松江市等については高水敷の整備等が両河川策を実施する。

飯梨川については、上流に多目的ダム群、河道には築堤、区削等を施行する。

加茂川については、河道の拡幅及び捷水路工事等を施行する。

利用に関しては、流域内の各地域における都市用水及び農業用水の需要の増大に対処するため、多目的ダム等により水資源の広域的かつ合理的な利用の促進を図る。

## まとめ

- かつては、大橋川からの流水の3割は本庄水域を通過して境水道に流れていた。

大橋川からの洪水を一刻も早く境水道に流下させ、中海沿岸を洪水から守るためには、大海崎・森山・馬渡堤防の開削が必要である。河川整備計画に堤防開削を入れる。

- 向こう20～30年間の河川整備計画を定めるこのたびの計画では、まず、大橋川沿岸の堤防整備や内水対策を行い、拡幅についてはダムや放水路の効果を確認しながら、改めて検討する。

## 発表者 2

「子どもの力で大人をかえよう」をスローガンに活動しています。高齢者さん から「昔は地中海で泳いだもんだわ」と聞かされており、子どもたちも昔のよう に、中海の中に入って遊びたいと思っており、水質浄化の早期化をお願いしたく、子どもたちに代わって意見発表させてください。



## 最近の活動から

私たちは地域の中心を流れる「意東川」の美化に関わる活動を展開しています。

- ・意東川の水質検査
  - ・意東川の清掃
  - ・意東川に美化看板設置
  - ・下意東地区「ふれあい広場」の美化活動への参画
- 等

## 中海と仲良くしています

中海(白鳥海岸)の清掃をしています。



中海(白鳥海岸)の水質検査をしています。



## 水と親しめる地区「下意東の町」 を取り戻したい！！

- ◎昭和30年代位までは、中海で泳げた  
(海・川で遊ぶ子はgoodな子)
- ◎今は、中海は海岸まで、意東川は入りにくい  
(海・川で遊んではいけません)  
でも、私たちは本当は・・・

海・川で親子で思いっきり遊びたい

昨年、白鳥海岸清掃のご褒美として東出雲町ライオンズクラブさんの手配で、「白鳥号」に乗せていただき「中海・宍道湖一周クルーズ」をしました。



初めての経験で、海から見る陸はすばらしかった  
でも  
水がもう少し浄化されれば・・・

## 中海・意東川と仲良くしたい！

- 意東川から中海に向けてのクルーズ  
（意東川 → 中海 → 宍道湖）  
（意東川 → 中海 → 境港）
- 中海（白鳥海岸から意東川）を親水ゾーンに
  - ・水の中に入れる
  - ・子魚と遊べる = 自然と仲良くしたい
- 下意東（東出雲町・島根県・斐伊川水系）の憩いの場にして欲しい

## そのために・・・

- ・私たちは  
美化活動をがんばります(大人も巻き込みます)
- ・地域の大人には  
美化活動にもっと参加してもらいます
- ・行政(国・地方)は  
私たち・ボランティア活動者を支えて  
(頼ることはしません)

## 今して欲しいことは

- ・地中海の浄化をもっと推進してください。  
今まで進めてきた「藻による浄化」を進めてほしい  
(昔は「藻」で水が浄化され、「藻」が肥料になり自然のリサイクルがされていたそうだ)
- ・地中海の景観のすばらしさ(人を癒す力)を知ってほしい  
地図の上では「中海」だけかも。でも、地域の人にとっては「心癒す場所」「自分をリセットする場所」  
**私たちは中海を愛しています。国も中海を愛して！**